

中小ユーザー系企業のIT戦略の策定

株式会社ロジコム（広島県）

国内物流から海外物流まで、一貫したサービス提案を多数手がけている物流企業

1. 相談のきっかけ

・事業者は、各企業のIT担当者同士で情報交換する機会がないため、他の会社のIT担当者と意見交換を行いたいとして、何か良い方策は無いかと考え、当拠点に相談。
・相談を受けている他社においても、同様のニーズがあることを確認し、各企業のIT担当者を集めて意見交換会を実施。
・さらにその中で事業者の個別具体的な課題についても相談を受けた。

2. 課題整理・分析

本企業の大きな課題は、いかにITを企業活動に取り込んで新しい価値を発揮するかという点であり、具体的な課題が以下のとおり整理された。

- ①攻めのIT経営を展開する必要性を認識のうえ、積極的に社内でノウハウを共有し生産性向上・販路拡大に生かすこと。
- ②ITの利活用による内部のマネジメントの強化。
- ③ITの利活用により顧客へのサービス提案力・現場力の強化。
- ④ナレッジマネジメントの強化。
- ⑤データの見える化、有効活用化。

3. 解決策の提案

以下の事項を助言提案。

- ①生産性向上と新規顧客開拓を目標としてITを活用。
- ②トップの意識を変えるのは、外部からの情報、データの有効活用。
- ③「ITを使うことによる問題解決提案」が現場から上がってくるための、現場のITリテラシーアップ。
- ④潜在知ノウハウ等の共有（形式知化）に向けた流れの構築。
- ⑤データ抽出の目的の明確化。



4. 成果

・業種を超えた意見交換会を踏まえ、事業者は企業文化・企業ステージなどにより抱える課題や力をいれるべきITの分野が異なることを認識。
・当拠点からの助言のほか、他者の解決方法もヒントにすることができ、IT活用に一層取り組むべきという認識が深まり、また具体的な方策についても知見を獲得した。
・今後も3ヶ月に1回程度定期的に勉強会を開催し、相互補完的なネットワークの構築を行う。本企業が強みとする一貫した物流サービス提案力が、ITの利活用が推進されることで、さらに磨きがかかり、ますますの事業展開が進むことが期待される。

<事業者の声>

意見交換会というかたちで、同様の立場で頑張っている皆様の話を聞くことは、学ぶことが多い貴重な機会でした。

そうした意見交換に加え、拠点からの助言を受けて、自分の中でもやもやしていたものを少し整理することができ、社内で進めている活動の方向性を精査することができました。